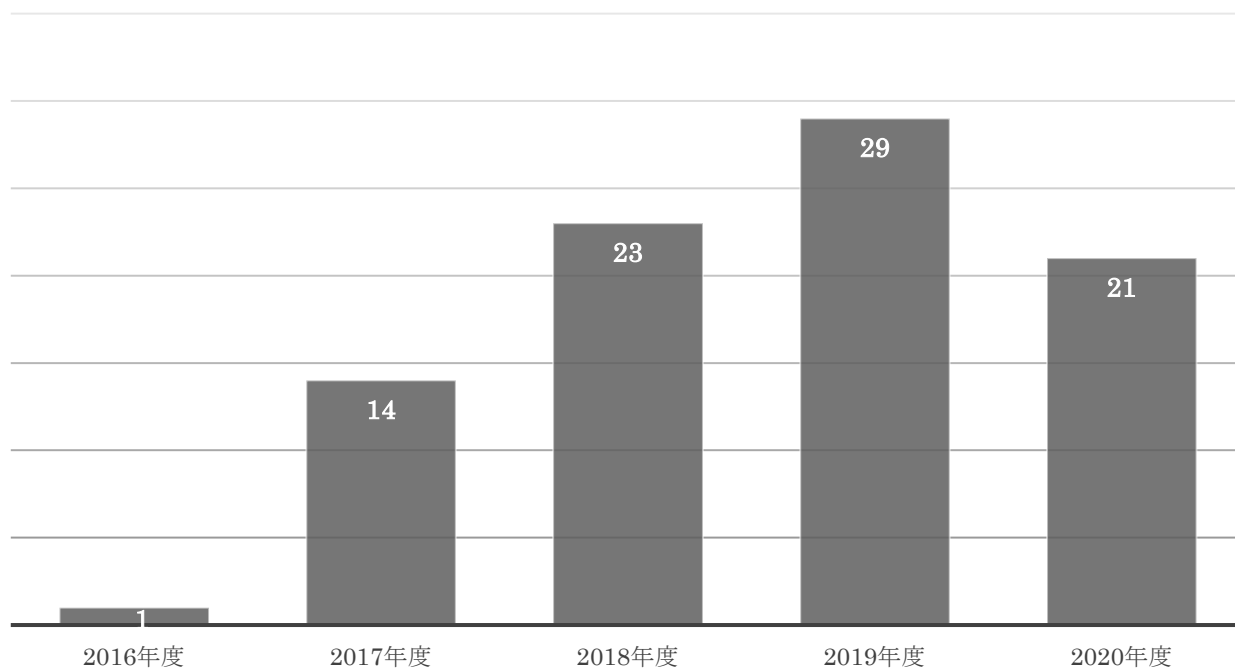


データで見るHS・わくわくの2020年度決定版

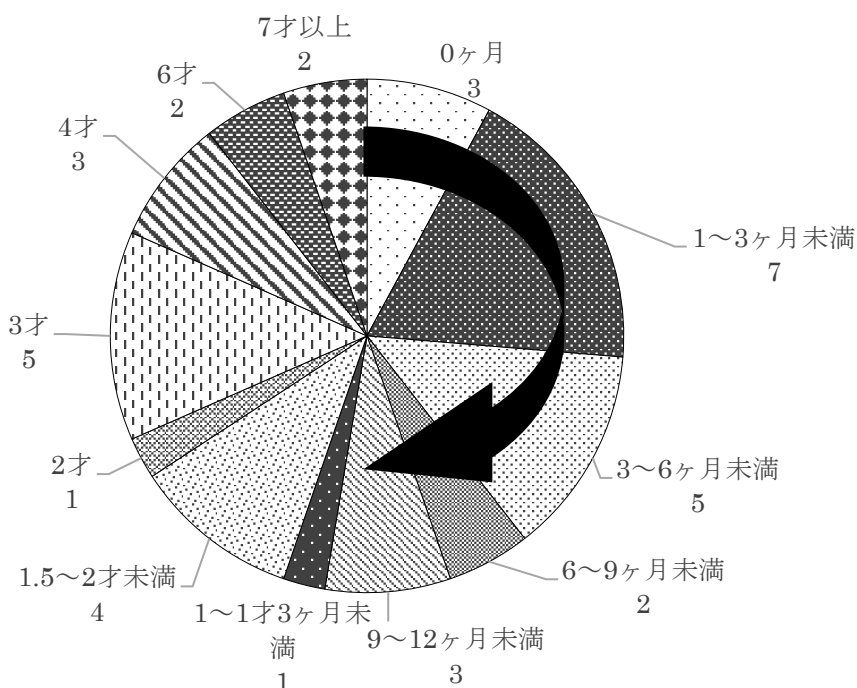
1・訪問活動について

- 2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）、新たに21家庭（うち2家庭は妊婦）を訪問し、27人のお子さんと関わりました。うち2家庭は多胎児家庭です。
- 2020年度登録ホームビジターは40人、オーガナイザーは3人です。
- のべ訪問回数はOG, HVあわせて114回です。
- これまでの利用者数の推移は・・・

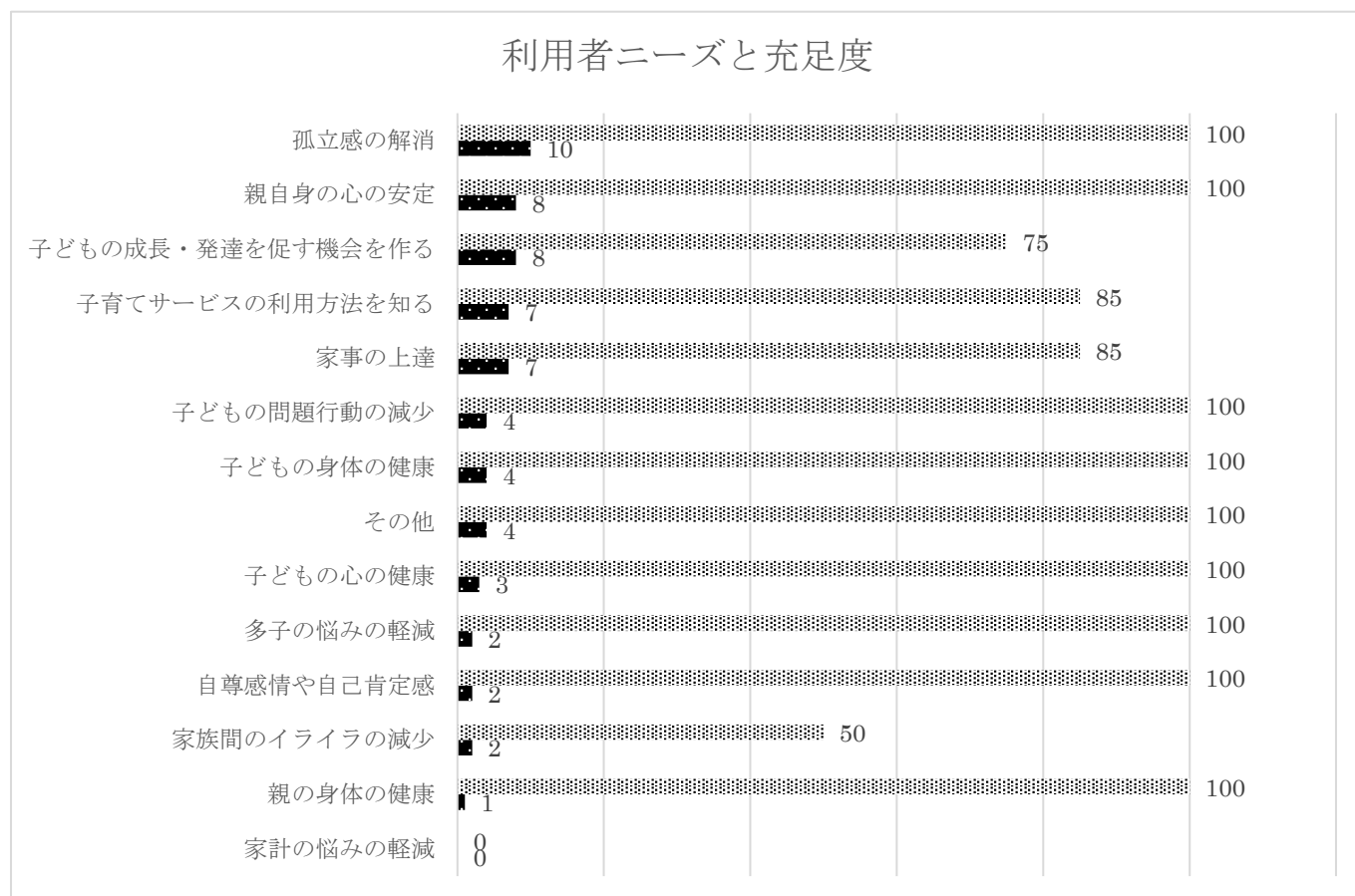
新規利用者の年度推移



●お子さんの年齢は・・・



●利用者ニーズ（基本集計で最終評価まで終わった13家庭）で多かったのは・・・



●途中終了（ビジター訪問せずに終わった、家族評価までいかなかった）5家庭については、不安解消や別の支援につながった、家庭の事情（引っ越し、コロナが心配）の理由がわかっています。ニーズ充足で「変化なし」でも終了したケースの理由は行う予定だった自宅での家事がコロナでできなくなったためや本人が納得した、ということです。

●ホームスタートを知ったきっかけについては・・・

一番多いのは口コミで12です。特に保健所からが5です。そのほか、友人・知人からが3と、信頼している方からの口コミが効果的なことがわかります。一方、ネットからの情報が増え4になっています。保健所からは外国人からの問い合わせが4件ありました。うち2件は利用に結びつきました。

2・訪問以外のスキームの活動について（「訪問以外の活動一覧」も参照）

●2020年4月にビジターさん向けアンケート実施、研修ニーズなどを把握しました。

●活動報告会 2020年9月19日

傾聴の講師（東京医科歯科大学附属病院小児科 すくすく外来 岡林優喜子さん）にお話をしてもらったほか、利用者さんとHVさんが対談しました。一般の参加者にはZOOMで参加してもらいました。23名参加（HV7名）

●HV養成講座

2020年11月～12月に開催、6名の新規ビジター登録 うち男性1名

●トラスティ会議 9月11日、2月19日

●HV交流研修会

2020年4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、12月、2021年2月、3月開催（ZOOMにて）HVOGの

べ 56 名。

11 月はホームビジター養成講座のため休止。 WAKUWAKU の未来 8 月 3 名 ZOOM 教室 9 月 2 名参加。

●HSJ 関連

2020 年 5 月 HSJ 総会、研修会に参加 (OG2 名)

2020 年 7 月 やさしい日本語研修 (OG1 名)

2020 年 8 月 HS 関東エリア協議会 グループワーク『WITH コロナでのホームスタート活動の工夫 (OG2 名)』

2021 年 2 月 多胎児の家庭の支援 (OG1 名)

年間を通して、HSJ のファンドレイジング、外国人家庭への対応、統計プログラム開発のプロジェクトにかかわり、HSJ 広報誌への取材に協力しました。やさしい日本語で活動紹介の動画を作成しました。

●ひろばでホームスタート

2020 年は南大塚で 7 月から毎週木曜日に合計 32 回開催しました。その他、千早で 1 回、要で 2 回開催しました。

●お問合せ対応

他区 (文京区、北区) からのお問合せ 2 件に対し、電話で対応しました。文京区の方にはその後文京区社協 CSW から連絡してもらい、地元の子育てサークルにつながりました。

フードサポートの問い合わせに対して、HS につながる可能性のある方にお返事とご案内をしました。

豊島区東部障害支援センターから、視覚障害のある母親がホームスタートを利用できるかどうかの問い合わせがありました。お子さん 2 人と外遊びの際、誰かについてもらいたいというご要望でした。ホームスタートは同じニーズでは 4 回程度しかサポートできないこと、その後のサポートにつなげる努力はすること、を説明しました。センターからはその後、ファミサポでチャレンジする流れになる旨お返事がありました。

●広報の拡大として地域がつながるプロジェクト (豊島区、WAKUWAKU) の支援家庭 (ひとり親家庭等) にリーフレットを配布、2 名の利用につながりました。日本子育て学会、豊島 100 人会議でも事業の説明を行いました。インスタグラムで情報発信、毎週 1 回は更新するようにしています。Facebook との連動もしています。早稲田大学の学生よりホームページを見て活動について問合せあり、報告会にも参加ありました。

●新型コロナ感染防止のためのガイドラインを改訂、訪問時はマスクを外さないの飲食は行わないこと、訪問は 19:30 には終了すること、訪問前に体調確認等のリマインドすること、を追加しました。

2021 年度の活動予定および課題

●目標訪問家庭 40 家庭 (外国籍家庭、妊婦の家庭、多胎児のいる家庭、男性利用者の開拓)

●男性ホームビジターの活用

男性ビジターが 2 人となり、活躍の場を求めています。育休中の男性や外遊び希望の利用者にご紹介ください。

●広報先 (リーフレット配布や説明会など) 10 か所増 (医療機関、民間保育施設にも拡大)

区民ひろば、子ども家庭支援センター、池袋保健所、長崎健康相談所にリーフレットの設置。

今後、可能な限り多様な子育て支援施設に対してお願いして参ります。

●ひろばでホームスタートは西部地区のひろばでも継続して開催したいです。

●新型コロナ禍でも訪問、研修、養成講座の質を落とさないよう、研鑽につとめます。

●災害時等の安否確認、緊急連絡体制や手続きについて、検討し周知します。